

「新型コロナウイルスが眼科手術数に与えた影響の検討」に対するご協力のお願い

研究代表(責任)者 伴 紀充

研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 眼科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2019 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、当院および下記の共同研究機関付属病院で眼科手術を受け方すべての方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20241108

研究課題名 新型コロナウイルスが眼科手術数に与えた影響の検討

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部眼科学教室

研究代表者

(専任講師) (伴 紀充)

共同研究機関

北海道大学大学院医学研究院眼科学教室

研究責任者

(講師) (安藤 亮)

東京大学医学部眼科学教室

(助教) (寺尾 亮)

名古屋大学医学部医学科・大学院医学系研究科

(病院助教) (太田 光)

眼科学・感覚器障害制御教室

九州大学院医学研究院眼科分野

(教授) (園田 康平)

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、新型コロナウイルス流行が我が国の眼科手術数にどのような影響を与えたかを、国内主要都市の複数の大学病院のデータを元に解析することで明らかにすることです。

本研究の意義としては、新型コロナウイルス流行が他の疾病的治療に与える影響についての知識が複数施設のデータから得られることで、今後の未知の感染症流行の際の対策等に役立つことが考えられます。

本研究は、慶應義塾大学医学部眼科学教室、北海道大学大学院医学研究院眼科学教室、東京大学医学部眼科学教室、名古屋大学医学部医学科・大学院医学系研究科 眼科学・感覚器障害制御教室、九州大学大学院医学研究院眼科分野による多施設研究です。主たる研究機関は慶應義塾大学医学部眼科学教室であり、データは慶應義塾大学医学部眼科学教室に集められ解析を行います。

5 協力をお願いする内容

この研究のために追加して行う検査はなく、また、今後も通常の診療で行う定期検査や診察以外のために来院していただく必要はありません。診療録の閲覧をさせていただくだけです。

具体的には、2019 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に慶應義塾大学病院と共同研究機関の付属大学病院において施行された眼科手術を対象とします。提供情報は、手術施行日、年齢、性別、病名、術式、術眼（左右）、麻酔の種類（局所麻酔、全身麻酔）、入院の有無、です。新型コロナウイルス流行前後での眼科手術数を白内障、緑内障、網膜硝子体、角膜、眼瞼に分類し、2019 年度を基準とし 2020 年度、2021 年度、2023 年度の眼科手術数の推移を解析します。また、新型コロナウイルス流行前後での眼科手術における年齢、性別、麻酔の種類、入院の有無の変化、さらにはそれぞれの機関での緊急事態宣言発出時の眼科手術数の変化を解析します。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 09 月 30 日

7 外部への試料・情報の提供

共同研究機関から主たる研究機関である慶應義塾大学医学部眼科学教室へは、個人が特定できないよう匿名化した手術情報（手術施行日、年齢、性別、病名、術式、術眼（左右）、麻酔の種類（局所麻酔、全身麻酔）、入院の有無）のみを電子的配信にて提供します。データから個人を識別するための対応表は作成していません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者 伴 紀充 お問い合わせ先：160-8582 東京都新宿区信濃町 35 慶應義塾大学医学部眼科学教室 03-5363-3869 (直通 TEL) 03-3359-8302

以上